

子どもたちの安全を守るために

小野町青少年育成町民会議総会と 子どもの安全確保に関する対策会議を開催



会議の様子

近年、子どもを対象とした事件・事故の多発に伴い、6月27日、小野町多目的研修集会施設において、小野町青少年育成町民会議総会と子ども（幼児・児童・生徒）の安全確保に関する対策会議を開催しました。

最初に青少年育成町民会議総会を行い、平成17年度事業報告、平成18年度事業計画（案）について協議し、左記事業について承認いただきました。

- 地域で連帯意識を持つてもらうためのあいさつ運動
- 講演会の実施
- 少年の主張作文コンクール、書き初め大会の開催
- 三世交代流学級の推進
- 親と子とのふれあいの推進
- 青少年リーダーの育成

総会終了後、子ども（幼児・児童・生徒）の安全確保に関する対策会議を開催しました。

対策会議は、昨年12月8日に第1回を開催し、今回が2回目の開催となります。

まず、小野警察署署長鈴木清高生活安全係長から、「子どもを対象とした犯罪事例」を発表いただき、現状認識を図りました。

続いて、町教育委員会・学校関係団体での取り組み状況を報告し、行政区・防犯関係団体などへ更なる協力をお願いしました。

当町においては、地域の皆様、学校のPTAの皆様のご協力により、各小学校区に「見まもり隊」が結成され、活発に活動が行われています。

町教育委員会でも、防犯運動の一助になるよう「腕章・パトロール用マグネットシート」を作成し、学校等に配付しています。

いつ、どこで、子どもたちが犯罪に巻き込まれるか分かりませんので、今後対策を強化し、将来を担う子どもたちの安全を「町ぐるみ」で守るため、皆様のご協力をお願いします。



平成18年度少年の主張 作文コンクール 発表大会開催

小野町青少年育成町民会議主催による、平成18年度少年の主張作文コンクール発表大会が7月5日、小野中学校体育館で開催されました。この大会は、中学生が日頃考えていること、感じていることを発表することにより、社会の一員としての自覚を高めると共に、青少年の健全育成を図ることを目的に開かれています。

大会では、主催者あいさつに続き審査委員紹介のあと一年生から順に発表が行われました。発表者は、小野中・浮金中から各学年4名が選ばれ、学校・家庭・社会等の身のまわりについて日頃考えていることをテーマに、それぞれの意見・体験を発表しました。

審査の結果は次のとおりです。
(敬称略)

- 最優秀賞**
「本当の強さとは」
小野中三年 藤井 妃
- 優秀賞**
「あなたの情報は・・・」
浮金中三年 中野 一生
- 「薬物乱用を調べて学んだこと」
小野中二年 吉田千奈美



発表者のみなさん

- 「本の力」
小野中三年 會田ほか
- 「僕とバレーボール」
小野中三年 宗像 雄基
- 「情報社会で生活するために」
小野中二年 渡部しおり
- 努力賞**
「柔道部に入って学んだこと」
小野中一年 小島 直也
- 「家族の絆」
浮金中一年 生天目知枝美
- 「心の豊かさとは何だろうか」
小野中一年 鈴木 望友
- 「バレーを通して広げた輪」
小野中一年 清水川佳奈
- 「環境破壊く水質汚染く」
小野中二年 大内田優理
- 「手伝いは大切なのか」
浮金中二年 長谷川彩佳